

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年1月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104068
法人名	有限会社 健眞
事業所名	グループホーム すずらんの家
所在地	鹿児島県鹿児島市平川町1547番地 (電話) 099-284-2655
自己評価作成日	令和3年11月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年12月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・午前又は、午後軽体操やレクリエーションで体力を保っている。
- ・洗濯物たたみを利用者と職員と共同で行っている。
- ・本人の希望を考慮し、外出支援を行っている。
- ・季節(月事)に応じた事業所内の掲示物や飾り物を利用者と職員と共同で行っている。
- ・玄関外でプランター栽培(野菜・花)を行い眺めることで季節を感じてもらおうようにしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・コロナ禍の中で家族と利用者及び事業所との関係を良好に保つための取り組みとして
 - ①事業所から個別に生活状況を写真入りで報告する「くらしのスナップ」の送付。
 - ②家族との面会の実施(窓越しや玄関のビニールカーテン越し)
 - ③担当者会議・運営推進会議への家族の参加、
 これらの取り組みから、家族と利用者との距離を縮め、身近に感じてもらえる。家族に利用者の状況を正しく理解してもらうとことで、職員との意識のずれを無くす効果がある。
- ・管理者・職員は、「自分がされて嫌なことはしない」ということをケアの核として本人の選択や自己決定を支援し、歩行や軽体操を取り入れて残存機能保持を図っている。
- ・代表者・管理者は、職員の事情を勘案した働きやすい環境作りに努め、離職防止を図るよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に職員が理念を意識するようにホール、事務所に提示し、利用者と共有できるよう心掛けています。職員会議の場でも理念についての話も行っています。	理念をリビング及び事務所に掲示し、パンフレットにも掲載している。毎月、職員会議時に理念の確認とケアの振り返りを行い、理念に沿ったケアの実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	本年度も昨年度同様に実施計画予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防の為参加自粛しています。	自治会に加入しているが、コロナ禍の為、地域行事への参加は自粛している。隣家の住民と外気浴等で会った時に挨拶を交わしたり、住民からの野菜の差し入れ等の近所付き合いは継続している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議や地域行事の参加等を通じて認知症の人の理解をしていただけるように努めています。が、コロナ感染予防の為自粛しております。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度のペースにて会議を行っており、様々な意見を参考にさせて頂き、その中からサービス向上に役立つ取り組みを実施しています。	運営推進会議は別棟で実施し、欠席者には資料を送付している。事業所の状況報告と意見交換を行っており、家族のコロナ禍による症状悪化への不安解消を図る機会となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市担当者の方とは、書類関係等で話し合い、地域包括支援センター職員とは空き情報等で連絡を取り合って協力関係を築いております。運営推進会議にも出席頂けるよう連絡を取っています。	市の担当者及び生活保護担当者とは、主に電話やFAXで相談・報告を行って連携を図っており、出向く場合は事前に連絡している。リモートで行われる市の研修会や実地指導に参加し、情報収集している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	管理者、ケアマネジャー、施設長、職員全員で身体拘束廃止委員会を2カ月に一度のペースで開催し、勉強会を行っており職員全員が理解して拘束しないケアを行っています。	指針を作成しており、3ヶ月に1回委員会及び研修会を実施し、職員の理解を深めており、スピーチロックは気付いた時に管理者から注意を促す等、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の施錠はせず、外出希望の利用者にはすぐ同行し、職員の見守りで行動制限をしないケアに努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	特に会議のみでなく、常々職員間でも話し合っています。コロナ感染予防の為、御家族にご理解いただき外出、外泊は自粛して頂いております。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	自立支援はもちろんの事、後見人制度については、社長、施設長が勉強されています。又、同系列のディサービスで成年後見人制度を活用しており、担当の後見人の方とも常に相談しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に具体的な説明をし、本人、家族と事前面談を行っています。特に急変時対応を理解して頂くようにしております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ご利用者の不満、苦情があった場合には管理者や職員は家族の方へ連絡し、家族の方の声及び意見を参考にし反映させています。苦情処理委員会を設け、玄関に意見箱を設置して投函して頂くようにしております。	利用者には日常会話で要望等を聞いており、帰宅願望については家族と連携を図って対応している。家族には、来訪時に状況報告を行い、事業所との認識のずれが無いようにしており、コロナ禍による低活動への不安には、歩行や体操に取り組んで不安解消に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や業務時などで職員の意見や提案を聞くようにし、運営に反映しています。また必要に応じ、代表者や管理者から職員への意見の問いかけも行っています。	管理者は、職員会議時に職員の意見を聞く機会を設けており、職員の提案を軽体操DVDの購入やケアについての情報共有に反映させている。職員の個別相談は施設長・管理者が受け、働きやすい環境作りに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の離職をなくするよう努めています。勤務状況もなるべく本人希望休みの聞き入れ、毎年少量ではあるが昇給も行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内勉強会を行っています。今年にはコロナ感染予防の為、外部研修を自粛しました。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者の方との話し合う機会があった時には、お互いの困難事例、その他を学ぶようにしております。また、ネットでの検索で様々な意見を読み参考にしております。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	御家族と電話及び来所され相談がある場合にご本人より困った事、困っている事をよく聞き取り、不安な事は何かを受け止めるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	初回面談や入所後の御家族の来所時や電話等で困っている事に傾聴し、ご家族の不安を取り除くようにしております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族がサービス利用で一番何を求めているかを本人、家族と十分な話し合いをし、その中から求めているものを見極め、様々なサービス利用（支援）を考慮しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と一緒に調理の下ごしらえをしながら献立を考えてもらったり、プランター栽培を通じて栽培方法などを教えて頂いたりとお互いが協力し合っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の色々な思いを面会時にケアマネジャー、管理者、職員が聞き取りお互いの悩みを話し合いながら支援しています。令和2年より新型コロナウイルス感染防止の為電話での聞き取りがおもになりました。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前、住んでいた地域を離れた人は電話、手紙、葉書等で交流を図るよう支援し、家族の協力を得られています。これまでの生活歴も家族及び本人より聞き取り全員で把握しています。	家族との窓越し面会や電話・手紙での交流を支援し、職員のコメントが入った個別の「くらしのスナップ」を送付し、家族との関係が途切れないように努めている。馴染みの訪問美容師も継続している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	施設内での軽体操やレクリエーションの中でお互いに意思の疎通が取れ支え合っています。うまくコミュニケーションが取れない時は、職員がお互いの話を傾聴し、コミュニケーションが取れるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用停止していても、ご家族にはいつでも相談にのれる様、家族との関係は保っている。又、他施設等移動がある時も受け入れ施設と連絡を密にし話し合いもしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の希望、思いを聞き取り利用者本位のケアが出来るよう努めています。ケアマネ、管理者及び職員も聞き入れに同席希望意向を聞き入れています。聞き入れが困難な利用者はお話よりお話を聞き入れています。	日常会話の中で、本人が選択・自己決定できるような支援に努めている。困難な場合は、家族の情報や日頃の職員の関わりで本人の思いを汲み取るようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴をご本人、家族から聞き取り、職員全員で把握しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人、一日の過ごし方は様々であり、その利用者にあった生活が出来るよう、アセスメントして把握しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議又は、スタッフカンファレンスを開催し、本人、家族にも同席して頂き意見を出し合い介護計画を作成しています。	本人・家族・職員で担当者会議を行い、希望等を出し合って介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回、6ヶ月毎に計画を見直しており、状況変化時にも見直して現状に合った計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>利用者本位の言葉を用いた記録を行い、本人の思いに気付くよう職員間で情報を共有しながら見直しをしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族や本人の希望があれば、外泊・外食等の外出がありました。令和2年より新型コロナウイルス感染予防の観点から制限をさせて頂いています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>令和元年までは、敬老会など外部より演芸等の出演者に来て頂いていましたが、令和2年に入り外部よりの接触を極力避けコロナ感染予防に努めています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用者の心身状況を考慮した医療機関を受診していきながら適切な医療を受けられるようにしていきます。医療機関の受診結果については、ご家族に電話や来所の際に口頭又は、文書での報告を行い、理解が得られるように努めています。</p>	<p>契約時にかかりつけ医の希望を確認し、継続受診を支援している。4週に1回の往診や家族対応の受診の利用もある。コロナ感染者の状況による家族の代理受診や緊急時の救急搬送等の対応で、適切な医療を受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>主治医である敬愛クリニックに4週間に一度の往診をして頂き、なじみの関係を築き看護職員、介護職員と日常の健康管理をしています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院された後にもカンファ等で出向き担当医師の説明を受けその情報をもらい、家族の希望に沿えるよう相談にのり、いつでも戻れるように連携しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用者の心身状況を日頃より報告しており重度化した場合の対応については本人、家族、医療機関と話し合っている。また、家族に対して重度化になった場合の対応に対してアンケートにて回答をもらっています。また、重度化や終末期に向けた対応の指針を作成しています。</p>	<p>契約時に重度化の場合の対応について選択肢も合わせて説明し、同意書ももらっている。状況に応じて重度化の場合の対応について家族やかかりつけ医と話し合っている。入院先を前もって決めておくこともあり、家族の意向に沿って、事業所でできる支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>新型コロナ感染予防の為外部よりの来所は制限をしている為職員間で救急蘇生等の研修を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>昼間、夜間で想定し避難訓練を行っています。運営推進会議開催の中でも災害時には地域住民の方々の協力を得るように働きかけを行っています。</p>	<p>年2回の避難訓練を昼夜想定で実施している。コロナ禍の為、今年度は消防署の立ち会いや地域住民の参加は自粛し自主訓練となっている。緊急自動通報装置に地域住民の登録が有り、地域との協力体制ができている。災害時の備蓄は、3日分の水や缶詰・乾パン等の食料を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報に関する契約を家族及び職員と取り交わしています。誇りやプライバシーを損ねない声かけ等で対応しています。記録も適切な取り扱いに気を配っています。	研修を実施し自分にされて嫌なことはしないケアを心がけている。ベッド上のパット交換時の目隠しやケア実施前の声掛け等を行って、誇りやプライバシーを損ねないようにしている。申し送りも部屋番号を使用しプライバシーの確保をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常に本人の好みや希望を問いかけて、本人の自己決定を重視しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常の流れに利用者を沿わせず、一人一人のペースで本人の望む生活を支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	できうる限り自分好みの洋服が着れるよう、本人に問いかけ選んでもらっている。また散髪時には希望する髪型に切ってもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	箸の並べや味見、お茶等、行っている。できない方には職員が手伝っています。	季節の食材を取り入れて調理し、個々に応じた食事形態で提供している。味見やテーブル拭き、保存食作りを利用者と一緒に行っている。合同誕生会の特別メニューや季節の行事食等、食事を楽しめるよう工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お茶や水は常時飲めるように工夫し食事時は、毎食摂取量をチェックしている。水分補給に関して密に利用者とコミュニケーションをとり、その度に声かけをし、水分補給しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後の歯ブラシを使用している。口腔ケアの自立支援及びポリデント等による義歯洗浄を週1回行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	全員ではありませんが、基本的にオムツを使用せず、下着も布パンツやリハビリパンツを使用してもらっていますが、夜間は移動時のつらつき、転倒リスクがある方は、車椅子を使用したり尿取りパットを重ねるなどの工夫をしています。	昼夜共にトイレでの排泄を基本に支援している。チェック表で排泄パターンを把握し、定期的に声掛け・誘導をしたり、夜間は転倒防止のため車椅子を使用する等工夫している。一人ひとりに適した布パンツやリハビリパンツとパットを選択し使用している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	野菜等、食物繊維の含有をとるようにし水分もこまめにとるようにしています。また、軽体操、レクで体を動かすようにして便秘による体調不良改善に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週2回の入浴とし、月金及び火土と入浴日を定めているが、失禁時、体調不良時を考慮しその時の利用者に合ったタイミングでいつでも入浴できるよう努めています。	週2回午前中を基本に入浴を支援している。1対1の介助でゆっくり入浴と会話を楽しんでおり、必要時は2人介助での対応もしている。汚染時は陰部洗浄やシャワー浴を行って、清潔で気持ち良く過ごせるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	消灯時間は決まっているが、それぞれ好きな時間に居室に行かれ入眠されている。休憩に関してもご自分の好きな時、休息されています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者が処方されている薬の服薬台帳を作成し、職員全員が理解し服薬支援を行っています。又、変化があった場合、主治医と連絡を取り合い服薬支持を仰いでいます。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	出来る方には洗濯物たたみ、調理の下ごしらえ、味見の確認をする役割があり楽しんで行われています。歌や踊り等その方々の生活歴、趣味を生かした生活を支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	令和2年より新型コロナウイルス感染予防の為、ご家族はもちろん外部の方との接触を制限しております。	コロナ禍の為、外出を自粛している。玄関先での外気浴や散歩も道路向かいのデイサービスまで行く程度である。外部との接触を避けられる公園に少人数のドライブをして楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在金銭管理のできる利用者がいらっしゃらないので、お金を所持している方はいません。金銭管理のできる利用者がいらっしゃれば、個人の財布を持たれ家族同意の下で管理して頂きます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話をかけたい希望があれば、いつでも事務所よりかけていただきます。葉書や手紙、年賀状等も書いてもらっています。又、手紙、年賀状も相手の方より頂いております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	天井からの採光や窓からの外の様子から今日の天気わかり、山からの季節感も感じられます。横にはJRの線路があり電車の音があり生活感も感じられます。ホーム内で生花や季節にあった装飾品を取り入れてあります。	コロナ感染防止の為にリビングと玄関はビニールカーテンで仕切り、朝・昼食後は換気をしている。玄関やリビングに季節の飾り付けや花で室内でも季節を感じられるよう工夫している。加湿器や濡れタオル・エアコンで過ごしやすい室内環境に調節し、利用者が好みの場所できつろげるよう椅子も置いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>肘掛け椅子が並んでいる所で腰掛け仲良く話したり、ご自分の居室に招かれ話をされる事もあります。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ダンスやベッドは備品であるが、他の物は本人の好みの物が持ち込まれダンス、ベッドの位置も家族と話し合いながら自分が居心地よいように工夫されています。</p>	<p>居室にはベッドやダンス・エアコンが備えてあり、本人は使い慣れた本棚や寝具を持ち込んだり、写真やカレンダー・身の回りの小物を身近に飾って、落ち着いて過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>フローア前面に手摺を設置し、段差なくバリアフリーとなっています。トイレ、風呂場、浴槽にも手摺を設置しており自立できるように工夫しています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/>	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない